

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒171-0021

東京都豊島区西池袋4丁目3番12号

□Publisher ZENSHIREN

TEL: 03-3971-0666

FAX: 03-3982-2913

E-mail: web-info@zenshiren.or.jp

皆様からのニュースのご提供を
心からお待ちしております。

全肢連情報はホームページ「響(ひびき)」でもご覧になれます。URL: <http://www.zenshiren.or.jp>

SNSで障害児・者、肢体不自由児・者の情報交換を *Facebook* <https://www.facebook.com/ZENSHIREN>

障害者の文化芸術活動に関するアンケートについて

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、厚労省では「全国障害者芸術・文化祭」の開催や「障害者の芸術活動支援モデル事業」の実施などに予算が付けられるとともに、厚労省と文化庁による「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会」も設置されるなど、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、関係者相互の情報共有やネットワークの構築を図り、障害者の芸術文化の振興に資する取組について、関係者による意見交換が広く行われている。

このような背景の中、障害種別団体や関係諸団体の連携に基づく「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク」(以下オリパラネットワーク)が全肢連をはじめ25団体加盟のもと昨年夏に創設された。(現在26)

障害者の芸術は、美術や音楽、舞台芸術など幅広い分野にわたり、海外でも高く評価されており、また字幕や副音声を使ったバリアフリー映画や障害者が芸術作品を鑑賞しやすい環境づくりなど、障害者の芸術活動を支援する人材育成事業も進められている。

オリパラネットワークの連携加盟団体の都道府県支部、所属する個人が行なっている文化芸術活動を把握することを目的に、その実態と意識調査のアンケートを行なうこととなり、全肢連でも1月17日付で各県肢連宛に協力依頼をし、2月3日現在で28都道府県よりアンケート回答があった。以下、回答の内容について掲載する。

【活動実態調査】

1 貴団体・貴会に・貴支部おける、文化芸術活動の状況について

(1) 団体・会・支部・事業所等が主催する文化芸術関係の催し物(文化芸術活動の発表等がある(あった))

○ある(あった) 回答12

- ・肢体不自由児者の作品コンクール
- ・陶芸
- ・三重県障がい者芸術文化祭
- ・各種コンサート(歌・吹奏楽・太鼓・ハドル・コーラス)
- ・ゴールドコンサート
- ・障害者が制作した作品展示会(絵画・習字・写真・手芸品・陶器類)
- ・作品展示
- ・障害者を対象としたクラシックコンサート
- ・春咲コンサート
- ・療育的音楽
- ・音楽サークル「ミックスジュース」コンサート
- ・山口県障害者芸術祭
- ・さおり織展
- ・第九コンサート
- ・わたぼうしコンサート
- ・書道の個展
- ・障害者が制作した書道展覧会
- ・京都とっておきの芸術祭

- ・ 芸術家を招いての制作ワークショップ※今後は年2回予定
- 今はやっていない 回答4
- (2) 団体・会・支部・事業所等が主宰する文化芸術関係のサークル等の活動がある(あった)
 - ある(あった) 回答13
 - ・ ダンス・太鼓・ハドバル・合唱 ・七宝焼 ・手芸 ・絵画サークル ・陶芸
 - ・ フライングディスク・ボーリング ・ミュージックケア(音楽療法) ・銭太鼓
 - ・ さぬきウツロール・サーカス ・音楽サークル「ミックスジュース」 ・音楽活動
 - ・ 絵画、工作などのアート作品制作活動 ・詩吟 ・スイミング ・習字サークル
 - 今はやっていない 回答3
- (3) 団体・会・支部・事業所等が企画する文化芸術鑑賞の機会がある(あった)
 - ある(あった) 回答11
 - ・ コンサート ・ユース・コンサート鑑賞 ・音楽鑑賞 ・バリアフリーコンサート
 - ・ にじの家コンサート(由紀さおり姉妹) ・おぎゃー献金合奏団定期公演
 - ・ 演奏会(マンドリン・フルート・オカリナ・コントラバス) ・手品鑑賞
 - ・ アフリカ太鼓鑑賞 ・ギターコンサート鑑賞 ・しょうぶ学園の演奏会
 - ・ 映画鑑賞会(金沢兼六ライヴス・クラブの協力を得て実施) ・クラシック鑑賞
 - ・ 障がい者アートフェスタ2016 ・心魂°のライブコンサート ・ミュージカル
 - ・ あいサポート・アートとっとり展 ・アフリカダンスの鑑賞
 - 今はやっていない 回答3
- (4) 団体・会・支部・事業所等が発行する機関誌(紙)や書籍、ホームページで作品や写真の紹介をするなど、文化芸術活動に関する情報の発信をしている
 - している 回答10
 - ・ 機関誌・会報・HPに掲載 ・作品出展への絵画、書の作者及び作品紹介
 - ・ 芸術文化祭の公募展案内を配布し、施設や関連団体にPR
 - ・ 書籍(奈良県内の事業所の作品集)、HP掲載
 - ・ 障害者作品展の応募のお知らせ
 - ・ フェイスブックで毎月の活動や不定期の活動について情報発信
- (5) 団体・会・支部・事業所等が取り組む、造形作品等の販売企画・デザイン企画などを行っている
 - 行っている 回答4
 - ・ さおり織展示即売会
 - ・ 障害者の作品を製品化し、県や市直営の販売所やバザー等で販売
 - ・ マグネット・ピン(ペットボトルの蓋を利用し磁石をはめ込みデザインを施しピンにする) アクリルタワシ(アクリル毛糸を編込みタワシとして使用)
- (6) 団体・会・支部・事業所等が主催、企画する文化芸術関係の活動はない
 - ない 回答16
 - *その理由について
 - ①ニーズがないから 回答10 ②予算がないから 回答10
 - ③体制的に厳しいから 回答4 ④何をしてもよいかわからないから 回答3
 - ⑤周囲の協力が得られないから 回答1 ⑥その他 回答4

2 頻度として「今はしていない」と回答された団体等にお尋ねします。その活動がなくなったのはどのような理由からですか？

- ①活動を支えていたスタッフや指導者がいなくなったから 回答1
- ②体制が厳しくなったから 回答4
- ③その他 回答1

【ニーズ調査】

3 貴団体等において新たに、または更に文化芸術活動をするとしたら、どのような活動を望まれますか？(複数選択可)

- (1) 会員が制作した芸術作品の展覧会の開催 回答5
(2) 公募展の開催 回答6
*公募の範囲について ①全国 1 ②都道府県 4 ③市町村 1
*公募の対象について ①同じ障害のある人たち 1 ②障害種別を問わない 2
③障害の有無を問わない 3
(3) ダンスや音楽等表現の舞台発表会の開催 回答3
(4) サークル、教室等、会員が活動する場の主宰 回答10
*どんな活動をイメージしますか？
①絵画 6 ②造形 4 ③ダンス 2 ④音楽(歌) 5 ⑤音楽(楽器) 6
⑥書道 2 ⑦写真 3
(5) 鑑賞会の企画 回答15
*どんな鑑賞会をイメージしますか？
①美術展 4 ②音楽コンサート 15 ③ミュージカル 8 ④演劇 6
⑤映画 2 ⑥その他 2 (パラリンピックポスター等の作成)
(6) 文化芸術に関する複合的なイベントの開催 回答1
(7) 障害者の文化芸術活動の成果の商品化など 回答4
*どのような取組をイメージしますか
・織物の展示即売会・絵画やポスターカードの展示即売会
・造形作品の販売会の実施
(8) その他 ・会員減少でニーズが少ない
(9) 新たな(更なる)活動は望まない 回答5

4 問3で(1)~(7)を選択した団体等にお尋ねします。どのようなことがあったら、そのことが実現すると思いますか？(複数選択可)

- ①予算があったら 回答14
②専門知識を持つ人からのアドバイスが得られたら 回答11
③そのことを担当するスタッフを配置できたら 回答13
④指導者が確保出来たら 回答7
⑤周囲の理解・協力が得られたら 回答2
*具体的にどのようなことが得られたら良いですか？
・時間の確保
⑥団体等内の合意が得られたら 回答7

【情報発信について】

5 貴団体等に関する情報(文化芸術活動に限らない全般的な情報)を、会員や外部と共有する方法としてどのような手段をお持ちですか？(複数回答可)

- ①団体等のホームページ 回答8
②SNS 回答5 (Facebook 4 / LINE 1)
④機関紙、会報の発行 回答25 ⑤電子メールで個別送信 回答5
⑥電話による連絡網 回答8 ⑦定期的な会合での伝達 回答13
⑧その他 回答1 (必要な情報は郵送している)

【今後の取組について】

6 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者が活躍する、どのような文化イベントが開催されるとよいとお考えですか。

- ・文化イベントは特別に障害者と分けて考える必要がなくなる方がよいのではないかと。
- ・造形作品の展覧会。
- ・パラリンピック選手に向けて一人につき一人が絵画及び書を出品。
- ・移動できない方が多いので区内の施設や公共の建物(役所か体育館等)でのイベント。
- ・文化展の開催。
- ・障害者が気軽に楽しく参加できるイベント。
- ・音楽コンサートや和太鼓の演奏会。長野オリンピックではアートパラリンピックが行われ街も盛り上がった。
- ・障害の有無にとらわれない合同のイベント。
- ・一定、メディア等で注目を集める部分も必要であろう(アトリエインカーブや金澤翔子氏など)とは思いますが、その中でも障害のある人やその家族の「生活実態や課題」にも着目し、障害理解や差別解消も取り上げるとよいのではないかと。
- ・書道展・絵画展(刺繍を含む)などの展覧会
- ・当事者が楽しく参加できるイベント。それぞれの個性が活かせるよう多岐にわたり催しがあればよいと思う。
- ・今年度、鳥取県で東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者芸術文化推進知事連盟のキックオフイベントとして「アートフェスタ2016」が開催されたこともあり、今後も国や都道府県、全国ネットワークが協同で継続実施し、全国的に目に留まるイベントを展開していくと良いと思われる。また、PRキャラバン隊を編成し、全国津々浦々をリードしていくようなイベントもあっても良い。
- ・障害者から絵を募集し、それをパネル化やタイトル化して壁面に貼る。
- ・ダンスや音楽サークル活動を行っている事業所等をピックアップし、それぞれがコラボレーションし(同じ音楽などを利用)地域で練習したのち、最終的に映像を交えて同時に配信する。
- ・パラリンピックと併合の芸術祭。
- ・全国で活動している音楽バンドのコンサート、ミュージカル、演劇、お笑い等々の舞台。障害児者自身のデザインしたTシャツ、トートバック、マグカップ、タオル等々の展示、販売。(本人によるプレゼンテーションをすること)
- ・障害のある人の芸術作品などが世に広く知られるようなイベントがあるとよいと思う。

7 全国ネットワークの各団体が連携して、どのような文化イベント等に取り組んでいくのが良いとお考えでしょうか。

- ・まずは情報共有システムから取り組んでいきたい。
- ・障害者の中でどのような方々が活躍しているのか広めていただき、全国で同じような活動をしている人々が集まり、イベントにつながるとよい。
- ・公募展の開催を複数箇所で行う。
- ・現在は障害の重さと介護者の高齢化で様々なイベントへの参加が難しく想像もつかないが、各自の都合で出掛けられる映画のチケットのようなものを企画していただければ利用できる方も出てくるかと思う。
- ・絵画展や造形作品展、音楽コンサート等が取り組みやすいのではないかと。昨年12月に「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」が開催され、当会も実行委員のメンバーとして企画運営に関わったが、こういった活動により障害者芸術が世間一般に理解されるようになると思う。
- ・あらゆる芸術の発表と展示。
- ・障害に特化している限り普通の生活になじまない。合同イベントを行うべきと考えます。

- ・問6と重なるが、地域生活の切実な課題(生活の基盤・生命・生存の安心と安全)の上に、文化芸術活動(自己実現・自己表現・QOLの向上)もあるのではと思う。障害理解が広がることは大切だが、とりわけ老障介護と呼ばれる課題について、まず地域生活の基盤を整えることに優先順位があるべきではないか。
- ・それを行える専門スタッフと窓口があり、当事者が主になって進めていけるようなイベント。私たち父母・家族の会はそれを支援し協力できれば良いと思う。
- ・芸術に関しては評価が分かれるが、障害者の描く絵画や制作するものに対し作品を評価し対価をつける。賞をいただくだけではなく、その作品が障害者の生きる糧となるよう持っていったら良いと思う。作品はインターネットで公募し公開し、日本以外でも賞を得られるようにし、ただの展覧会で終わらないようにする。また音楽の好きな人が身近なところで取り組まれているサークルや事業所などを知れるようなネットワークができるとよい。
- ・①東京NHKホールで、全国の音楽活動やダンス、演劇等の活動をしている団体、個人も含めて舞台に立つ。②本(自分史、絵本、ポエム、短歌、小説、その他)を出版したい人達の全国公募をし(何人までかは予算と相談)本屋さんに並べるくらいまでの支援をする。例1): 賞をもうけ、1位~3位までの本の出版、4位~10位まで賞金が賞状。例2): 小説、自分史、ポエム、絵本、その他・・・各部門の優秀作は本の出版等々。

平成28度社会貢献者表彰候補者推薦のお知らせ

公益財団法人社会貢献支援財団では、昭和46年設立以来、社会貢献をされた方や団体に対する表彰事業を実施し、これまでに12,261件の方々を件表彰されている。

平成28年度も「人命救助の功績」「社会貢献の功績」2部門の推薦募集を開始した。

是非とも素晴らしい活動をされている方々をご推薦下さい。

【目 的】

国内外問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰し、そのご功績に報い感謝することを通じてより良い社会づくりに資することを目的とする。

【候補者の資格】

1. 候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍などの制限はありません。
2. 候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方
3. 候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典(叙勲、褒賞)または大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とします。
4. 「人命救助の功績」については、原則として、平成28年1月1日以降の功績を対象とし、この功績の場合のみ、当該行為により亡くなられた方を含みます。

【推薦締切】

平成29年4月30日(日) 消印有効

【お問い合わせ先】

公益財団法人 社会貢献支援財団 事業部(池田・飯田)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町801

TEL: 03-3502-0910 FAX: 03-3502-7190

<https://www.fesco.or.jp/recommend/index.php>

津久井やまゆり園 建て替え問題 ～神奈川県審議会で意見続出～

神奈川県は3日、障害者施策審議会（座長＝堀江まゆみ・白梅学園大教授）を県庁内で開き、県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」（相模原市）の再生基本構想を策定する部会の設置を決めた。部会は同園の入所者の意思確認の在り方、施設再建後の定員規模などを2月下旬から5月まで議論する。県が、今の入所者のためというよりも県の政策として議論するよう求めたところ、委員から「現在地に大規模施設を建てるのではなく、小さなものを分散整備してほしい」との意見が相次いだ。

県は部会の結論を受けて基本構想の案を6月上旬に公表し、関係者に説明した上で夏に決定する。今年1月の公聴会で建て替え方針に異論が噴出したため、基本構想の策定期間を当初予定の3月から延期する。

同日の審議会では、津久井やまゆり園の入所者がどこに住みたいのか時間をかけて聞くべきだとする意見が上がった。これに対し、県は「現在の入所者の住まいをどうするかという問題と建て替えの問題は別だ」（小島誉寿・福祉部長）と答えた。

入所者の意思確認には時間がかかるため、それを待たずに建て替えの必要性を導き出したい――。そう考えた県は「今の入所者のため」という視点よりも、県の政策としての入所施設の必要性を前面に打ち出した。

県は人口10万人当たりの入所施設（成人の障害者）の入所者数を持ち出し、神奈川県は全国で最小だと強調。もともと地域生活支援を進めていて、入所施設は足りないと説明した。「（障害者の）家族の負担を減らし、共倒れを防がなくてはならない」（小島部長）とも語った。

一方、「今の入所者のため」という視点から距離を置けば、「60億～80億円かけて、定員130人規模の施設を現在地で2020年度までに建て替える」とするこれまでの県の方針に固執する根拠は弱まる。特に、大規模施設を整備することは、今の政策の流れとして掲げにくくなる。

それを意識するかのようになり、同日の審議会では「津久井やまゆり園の建て替え費用を減らし、他の地域に回してほしい」（鈴木孝幸・県視覚障害者福祉協会理事長）など、小規模施設を現在地を含む幾つかの地域に分散整備すべきだとする意見が複数の委員から上がった。

昨年7月26日の事件当時、短期入所を含めた同園の定員は160人で、157人が入所。現在は厚木市内の施設（分園）で暮らす40人を含む99人が在籍する。在籍者は4月から約4年間、横浜市内の施設（3月までに約1億円かけて改修）に仮入所する。

県は昨年9月、在籍する99人と県立の他施設に移った32人の計131人が再建後の同園に戻る前提で建て替える方針を決定。建て替えの理由は「改修では凄惨せいさんな事件を思い出してしまう」など、入所者や職員の心情を重視していた。

審議会の委員は20人で障害者団体、福祉事業経営者、学識者、首長で構成。基本構想を議論する部会の委員は8人で次の通り。

▽堀江まゆみ・白梅学園大教授▽堀越由紀子・東海大教授▽富田祐（県本人の会「希望」副会長、知的障害者）▽野口富美子・県心身障害児者父母の会連盟幹事▽安藤浩己・県知的障害福祉協会顧問▽伊部智隆・県社会福祉協議会福祉サービス推進部長▽小川喜道・神奈川工科大教授▽在原理恵・県立保健福祉大准教授

苫小牧市 トイレカー導入 ～災害やイベント用に～

北海道苫小牧市はこのほど、福祉バイオトイレカーを導入した。高齢者や車いす利用者の社会参加の促進を目的にしたもので、今後、イベントで活躍するという。

トイレカーは、日産トラックの荷台を改造したもの。幅2メートル、奥行き3メートルの個室があり、中は車いすでも動く広さとなっている。車両価格は1900万円。

洋式便器の中にはおがくずが入っており、水を使わずに微生物が汚物を分解する。臭いもなく、災害時に使用することも想定している。

苫小牧市にはかねてから身体障害者団体などが各種イベント会場に多目的トイレを増やすよう要望してあ。これを受け、市は用地確保や維持管理など費用を検討した結果、トイレカーの導入を決断したという。

トイレカーは神奈川県で警備会社を運営する優成サービス(株)(八木正志社長)が2008年に開発。11年の東日本大震災や16年の熊本地震の被災地でも活躍した。

TOKYOバリアフリースイde街づくり～2020そしてその先へ～開催案内

誰にとっても身近で大切な存在の『トイレ』をテーマに、障害のある方たちにとってトイレの困りごとは何か、また、誰にでもやさしいトイレについて探り、障害理解を深めながら東京のバリアフリースイdeのあり方について考える。

- ◆日 時 平成29年2月28日(火) 午後1時～4時
- ◆会 場 TIAT SKY HALL(ティアットスカイホール) 羽田空港国際線ターミナルビル4階
- ◆主 催 (福)日本身体障害者団体連合会、中央障害者社会参加推進センター
- ◆参加費 無料(定員160名)
- ◆申込先 (福)日本身体障害者団体連合会
電話：03-3565-3399 FAX：03-3565-3349
- ◆詳細 <http://www.nissinren.or.jp/>

☆第36回グラフィックアート・コンテスト 作品募集

障害の有無にかかわらず、子ども達が様々な場面でふれあうことを目指して始まった「ふれあいの輪」を広げるキャンペーンの一環として、日本コカ・コーラ(株)の支援を受けて、平成29年度も「グラフィックアート・コンテスト」を開催します。

テーマ「Smile!～幸せな時間～」自分や家族、友達、仲間が幸せを感じる一瞬!

- ▽募集作品 第1部 コンピューターアート部門
第2部 デジタル写真部門
第3部 動画部門

▽応募資格 障害児者とその家族、関係者

▽募集期間 平成29年4月1日～6月15日(消印有効)

▽応募要項、応募用紙のダウンロードは、全肢連ホームページ「響」へ。

<http://www.zenshiren.or.jp>こちらで詳しいチラシを用意しています。

※ダウンロードが難しい場合は、全肢連事務局までお問い合わせください。

****会員並びに関係団体、施設等への周知にご協力をお願いします****

*熊本地震義援金 受領のご報告

このたびは、熊本地震義援金を賜り誠にありがとうございました。
皆様方の暖かいご支援に心より厚く御礼申し上げます。

※ご送金いただきました御名義で掲載しております。

愛媛県肢体不自由児者父母の会様	平成29年1月30日	¥30,000-
足立区肢体不自由児者父母の会様	平成29年1月31日	¥60,000-
	合 計	¥90,000-

29年度通常総会(全国会長・事務局長会議)開催のご案内

日 時：平成29年5月20日(土) 13時～開会 (受付開始12時～) 予定

場 所：「I K E ・ B I Z」(旧:豊島区勤労福祉会館)

東京都豊島区西池袋2-37-4 ・池袋駅西口下車 徒歩約10分

・池袋駅南口下車 徒歩約 7分

総会の詳しい案内につきましては改めてご案内いたします。。

なお、平成29年度全肢連第1回理事会は同会場にて10時より開催予定です。。

事務局より

①平成29年度さわやかレクリエーション&キャンプ事業実施予定の聞き取りについて
29年度も引き続き「地域共生」「地域連携」をテーマに、防災避難訓練等の推進を目標とした助成事業として補助をいただけることとなりました。

まずは、事業実施の申請希望の有無について、同封しました回答書に明記の上、

3月29日(火)までに全肢連事務局までFAXにてご回答下さい。

②平成29年度第50回全国大会(京都大会)の参加見込み人数の聞き取りについて
2月1日発の回答用紙にご記入の上、**3月10日(金)**までに全肢連事務局宛に返信ください。締切期限が短い中で申し訳ございませんが、現時点での見込み人数で構いませんのでご協力の程よろしく願いいたします。

③平成28年度事業実施概要報告及び平成29年度事業計画(案)について

本日現在未提出の各県肢連につきましては早々にご提出願います。